



疫病退散を願うアマビエ守りが人気です。人気過ぎて入荷待ちでしたが、つい最近、入荷されました。また、緊急事態宣言中は少数、解除後は多数の参拝があります。正に「苦しい時の神頼み」です。大変な状況ですが、お寺の在り方を改めて想う今日この頃です。

変えるもの、変わらないもの

良啓

世界的な規模で感染拡大をしている新型コロナウイルスの影響で、生活様式や働き方が大きく変わりました。外出自粛、臨時休校など、一年前なら考えられない状況です。更に、葬儀や法事も縮小傾向にあります。葬儀でしたら一般焼香の自粛、法事の場合は参列者の人数制限などです。

この様な大きな変化はありますが、葬儀や法事は変わらず行っています。(今のところ・・・)

ある法事で拝んでいる時、ふっと頭の中に降りてきました。

「人類の長い歴史の中で、この様な規模の災害は何度も経験してきた。その度に、ご先祖様(ウヤファウジ)は知恵を絞り、大いなる忍耐力を発揮し、その苦難を乗り越え、今日の私達に命を紡いできた。」

そう考えると、命を授けて頂いたご先祖様と正面から向き合い、不安な気持ちを隠すのではなく、「もしご先祖様だったら、どの様に考えるのか、どう対処するのか」と自問自答することが今、法事には求められているのかも知れません。「ご先祖様を敬い、頂いた命に感謝する事が法事の目的の一つです。「敬うとは、悩み考える事」と常日頃思っています。美味しい料理やお菓子を供えるだけが敬う事ではありません。」

この苦難を拝む糧にして、ご先祖様とのご縁を深いものにして頂ければ、良い功德になります。皆様は、何を変えて、何を残しますか？

ごあいさつ

伊計七星

はじめまして。九月から神宮寺の寺務員としてお世話になっております伊計七星と申します。

神宮寺の寺務員募集の話友人から聞いたのは今年の七月。元々お寺や神社めぐりが好きだったこともあり、すぐ応募！採用が決まった時はとても嬉しくて嬉しくて、と同時に一昨年念願だった京都を訪れた時の、電車の中から見えた景色がふとよみがえりました。遠くからでもわかる東寺の五重塔と京の町並み。その景色が今でも忘れられず、目に焼き付いています。

また、神宮寺は、東寺真言宗のお寺ということを知り、記憶の中の東寺と小さな繋がりを感じました。友人から教えていただいたのをきっかけに、小さな繋がり大きな繋がりとなって、ご縁となったなあとしみじみと感じ、毎朝ご本尊様とお大師様に手を合わせるたびに思い出せば、今日も一日お勤め頑張るぞと一人気合を入れています(笑)

まだまだ仏教については明るくなく、勉強中の身ですが、早くスムーズに対応できるよう励みたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

最後に、まだまだコロナウイルスも心配ですが、季節の変わり目でもございますので、お風邪など召されませぬよう、くれぐれもご自愛くださいませ。

